

Newsletter

日本養護教諭養成大学協議会

Vol.54 2025.7.31

日本養護教諭養成大学協議会
ニューズレターVol. 54
会 長 遠藤伸子（女子栄養大学）

★ ★ ★ ★ ★ 目 次 ★ ★ ★ ★ ★

会長挨拶・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1	新規入会大学紹介・会員校だより・・・・・・・・・・	4
2025年度総会および20周年記念行事のご案内・・	2	各委員会活動報告・協議会活動報告・・・・・・・・	5
分科会のご案内・交流会のお誘い・・・・・・・・・・	3	事務局からのお知らせ他・・・・・・・・・・・・・・・・	6



会長挨拶

会長 遠藤伸子
(女子栄養大学)

気象庁より「今夏も昨年同様猛暑」との予測が早くから出されておりましたが、的中だったようです。養護教諭志望の学生さん達は、気の毒なほど暑い中、令和8年度採用の教員採用試験に奔走し、一次試験の可否が発表された頃ですから、落ち着かない毎日を送られていることでしょう。また、会員校の先生方も採用試験の二次対策や学生の進路相談に追われながら、学期末のお忙しい毎日をお過ごしのことと拝察致します。

さて、過日ご案内差し上げましたが、本会は今年度で設立20周年を迎えました。9月5日は久しぶりの対面総会のあと、講演会、記念行事、分科会、情報交換会（懇親会）を開催致しますので、是非、多くの先生方にお集まりいただき、様々な課題やこれからの展望など、情報を交換しつつ、親睦を深めたいと思っています。

思い返せばコロナ前の本会は毎年情報交換会を開催しておりました。そこでは、普段お会いする機会の少ない会員校の先生方同士も食事とともにしながら語り合うチャンスがありました。久しぶりの情報交換会ですが、この間、国内外で起こった出来事として、今日まで影響を及ぼしたのは何と言っても新型コロナの感染拡大ではないでしょうか？ 世界経済も打撃を受け、改めて政治や医療体制の重要性が再認識

（学校では養護教諭の重要性の再認識も）されました。

また、ロシアのウクライナ侵攻や中東戦争の激化により、その他の国でも戦争のリスクが顕在化し、安全保障やエネルギー政策が各国で見直されました。

そして、私たちも翻弄されたオンライン授業への対応（おかげでICT技術が高まりましたが）、また、今まさに感じているAI技術の飛躍的な進展、今後の教育や研究が一変する兆しを感じられます。一変するといえば、近頃入学してくる一部学生の様子が一変したと感じ、憂慮されることが複数あります。果たして、人口減少や国際競争の激化という変化に我国は適応できるのでしょうか。そのような憂慮が2025年2月の中教審答申「我が国の『知の総和』向上の未来像 ～高等教育システムの再構築～」が提言された背景の一つであろうと考えています。

このようなことを考えるとき、「同じく養護教諭養成に従事されている先生方は、この件についてどうお考えなのだろう？」と、私自身皆様にうかがってみたいテーマが沢山あります。

9月5日の分科会のテーマとして、それらいくつかの疑問や語り合いたいことは何か、理事会役員の先生方と話し合いました。また、分科会に先立つ講演会では「今後の大学教育の在り方（仮題）」について、桐蔭横浜大学の森朋子学長にご講演頂きます。今からとても楽しみです。また、分科会のテーマには入れられなかった関心事は情報交換会で解消して頂きたいと思っております。是非ご参加ください。お待ちしております。

2025年度総会・講演のご案内

開催日時:2025年9月5日(金)

- * 日時:2025年9月5日 (金)
- * 開催方法:対面
- * 場所:きゅりあん (品川区立総合区民会館)
(東京都品川区東大井5-18-1)
- * 会場アクセス (<https://www.shinagawa-culture.or.jp/curian/access.html>)
- * 日程:
 - 9:30~10:30 総会
 - 10:30~10:55 20周年記念行事
 - 11:10~12:40 講演 (質疑応答含む)
桐蔭横浜大学学長 森 朋子氏
 - 12:40~13:30 昼休み
 - 13:30~15:15 分科会
 - 15:30~16:15 全体会
 - 16:15~16:30 閉会
 - 17:00~19:00 情報交換会

情報共有の場として、情報交換会を開催いたします。各大学が抱える養成教育に関する課題や今後の展望について、意見を交わす貴重な機会となります。
皆様のご参加を心よりお待ちしております。

今年度の日本養護教諭養成大学協議会総会ならびに講演は、**6年ぶりに対面開催となります。**(講演のみオンデマンド配信)

プログラムは以下の通りです。皆様のご参加をお待ちしております。

講演のご案内

テーマ:社会の動向と大学の関係
講師:森 朋子 氏 (桐蔭横浜大学学長)
日時:2025年9月5日 (金) 11:10~12:40

今年度の講演は、教学マネジメントを専門とされている森朋子氏に「社会の動向と大学の関係について」というテーマで、今後大学がどうなっていくのか、大学教育がどうあるべきかなど、小学校での校長経験を踏まえつつ、DPとカリキュラムとの関係性の大切さに触れるなど、幅広い内容に触れながらお話いただきます。
※当日の講演の様子については、録画し、後日配信予定です。

参加申し込み方法

7月16日付メールにて、本協議会事務局よりご案内しております総会等参加出欠フォームより、ご返信いただけますようお願いいたします。



20周年行事のご案内

本年、日本養護教諭養成大学協議会は、おかげさまで設立20周年を迎えることとなりました。これを記念し、今年度の総会に併せて20周年記念行事を開催いたします。

まず、歴代会長・副会長の先生方よりいただいたメッセージを、動画形式にてご紹介いたします。協議会の発展と未来への想いが込められた、非常に貴重な内容となっており、総会の特別プログラムとして会員の皆様にご覧いただく予定です。

また、本協議会の歩みを振り返るスライドショーもご用意いたしました。社会情勢の変遷とともに協議会が取り組んできた活動をご覧いただける構成となっております。昼休み中に上映予定ですので、ぜひご覧ください。

20年間にわたりご支援くださった会員の皆様へ心より感謝申し上げますとともに、これらの記念行事を通じて協議会の歩みと未来への希望を共有できればと考えております。今後とも変わらぬご理解とご協力を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

(20周年記念誌編集委員会 池添志乃)

分科会のご案内

第1分科会

養護教諭養成のこれから

—学校の現状、子供たちが抱える現代的課題に対応するための未来を見据えた養護教諭養成のあり方—

令和7年2月の中教審答申では「知の総和」を向上するために、高等教育システムの再構築ということで「質の向上」「規模の適正化」「アクセスの確保」について提言されました。養護教諭を養成する私たちは卒業させる学生の質をどう担保するか、そのための成績評価・卒業認定の厳格化なども求められています。具体的には、心の健康課題の増加に伴い、養護教諭は救急処置や健康教育などはもちろん、心理的支援やカウンセリング技術などが必要です。また、多様化、重層化する健康課題に対してより適切で専門的な対応が求められています。そのようなニーズをくみ取り、どのような学生をどう育てるか、共通の志を持った皆さんと率直に語りあいたいと考えています。是非、ご意見をお聞かせください。

第2分科会

今知りたい、養護教諭養成 コアカリキュラム2025(案)

これからの社会で活躍する養護教諭を養成するため、本協議会では2020年にコアカリキュラムを策定しました。このコアカリキュラムの構成や内容を整理し、新たな項目を追加するなど、より内容を充実させるべく「養護教諭養成課程コアカリキュラム2025(案)」を作成中です。

本カリキュラムのコアとして「A.養護教諭として求められる基本的な資質能力」「B.社会と学校における養護」「C.学校における養護の対象理解に必要な基本的知識」「D.養護実践の基本となる専門基礎知識」「E.養護実践の展開のための基本的知識」「F.養護実習」「養護実践の省察と養護学の探求」を提示しています。

分科会では、皆様とともに検討し、よりよいコアカリキュラム作成に向けて邁進したいと考えております。

第3分科会

今しか聞けない採用試験の最新情報

講師：中西 茂氏

(元読売新聞編集委員、教育ジャーナリスト
協同出版 雑誌「教職課程」客員編集委員)

教員採用試験の政策的変化、前倒し試験の現状、養護教諭の採用試験状況についてお話しいただきます。採用試験の方法が年々変化しています。対策について悩んでいる先生方状況を共有しながら、採用試験対策について考えましょう。

第4分科会

授業実践：学生の深い学びを促す発問 —問いを変えれば授業が変わる—

講師：川越明日香氏（熊本大学）

目の前の学生は「思考」していますか？授業実践部会では、学生の深い学びを促す「発問」に焦点を当てた授業作りのワークショップを行います。発問の機能や種類について具体例を交えて解説した上で、参加者の担当科目における「問い」を考えるワークを行い、実践的な授業スキルを習得します。学生の思考を活性化し、より魅力的な授業を実現したい先生方のご参加をお待ちしております。

【情報交換会のお誘い】

日時：2025年9月5日(金)17:00-19:00

会場：きゅりあん8F GROVE SUNNY SIDE(グローブサニーサイド)

住所：東京都品川区東大井5-18-1 TEL:050-5462-5279

会費：5,000円(当日受付にてお支払いください。)

※ご注意ください※

事前申し込みされた方は、不参加の場合でも会費を頂きますので、ご了承ください。





新規入会大学ご紹介

看護学を基盤にして、社会に貢献できる人材の育成

鎌田佳奈美 田中結華 矢本良江（摂南大学）



摂南大学は、1975年の開学以来、「社会に貢献できる人材の育成」を理念とし、実学に基づいた教育を展開する総合大学です。現在、9学部17学科を有し、文系・理系・医療系の幅広い分野を網羅する学際的な学びの場を提供しています。大阪府内に2つのキャンパスを構え、枚方キャンパスには医療系学部が集まり、地域に根ざした専門的な教育・研究の拠点として機能しています。看護学部もこの枚方キャンパスに設置されており、恵まれた学修環境の中で、確かな専門力と豊かな人間性を育む教育が行われています。看護学部設置された「養護教諭一種教職課程」では、看護師としての専門性に加え、教育現場において子どもたちの心身の健康を支える力を持つ、実践的な養護教諭の育成を目指します。本課程では、基礎看護学や学校保健、発達心理学、カウンセリング、教育原理などの学びを通して、医療と教育の融合を図る多角的な視点を養います。

また、教育実習では、実際の学校現場や保健室での活動を体験し、子どもたちとの関わりの中で、寄り添い支える実践力を磨いていきます。近年は、子どものメンタルヘルスや精神的課題に関心が高まっています。本課程では心のケアにも焦点を当て、より広い視野で健康を支援できる力を育て、チーム学校の一員として、学校内外の他職種と連携し、子どもの健康課題に柔軟かつ包括的に対応できる力の育成を重視しています。また、他の教職員や医療・福祉関係者と協働できる実践力を身につけることを目指します。この養護教諭養成課程は2025年に新たに開設されたばかりであり、私たち教員一同、4年後に1期生が現場で活躍できるよう、日々教育内容を充実させています。子どもたちの命と心に寄り添う人材の育成に向けて、これからも誠実に取り組んでまいりますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

会員校だより～北から南から

北から南から、会員校に学校紹介や養護教諭養成の近況等をご執筆いただいています。

会員相互の交流が深まる場となれば幸いです。

養成制度・カリキュラム検討委員会の一員として

間戸美恵（桐生大学）

2024年度スタートの今期より、検討委員会の一員として活動をさせていただいております。

本学には看護学、栄養学、芸術系の学科があり、それぞれに教職課程を設置しています。養護教諭養成コースは看護学科にあり、各学年10名程度の学生が、養護教諭一種と看護師のダブル免許の取得を目指しています。この5～6月に4年生13名が養護実習を行い、先日、総まとめの教育実習報告会を無事に終えたところです。当初は迷いや緊張の様子を見せていた学生が、この頃には一人ひとりが精一杯、主体的に取り組んだからこそその充実感に満ちた表情をしています。まさに実習校の先生方による、とどめの“教育実習効果”です。同時に、養護教諭としての資質・能力を限られた学修時間の中で、講義と演習、そして実習をどう有機的に結び学習効果を上げていくか、指針に基づく創意工夫がとても重要であると改めて考えます。

今期の委員会は日本各地の先生方で構成されており、オンラインと対面を駆使して地道かつ活発な検討が進んでいます。そこで交わされるご意見や思いの数々を通して、多くの刺激をいただいています。この機会を身近な学生の教育へと還元するとともに、個々の経験と知恵を積み上げて一般化へ、改訂コアカリへと続く検討プロセスに、微力ながら貢献できるよう努めていきたいと思っています。

養護教諭の視点をもった臨床実習での学び

武市裕子（愛知教育大学）

昨年度よりFD委員会に参加させていただいております。私は一昨年度まで養護教諭として勤務しており、大学に着任したばかりで右も左も分からない中、全国の先生方とのネットワークができる機会をいただい、FDの内容以外にも様々な情報交換ができることを有難く思っております。

昨年のFD委員会のワークショップでは、実習における合理的配慮のケースについて担当し、参加者の方々と協議させていただきました。本学では臨床実習や教育実習の担当をしております。教育学部の単科大学として、養護教諭の臨床実習をどのように行うか、コロナ禍以降、病院での実習を拡充することが難しい現状の中で模索しているところです。養護教諭は子どもの心身の健康課題の対応に当たって、校内外の専門職・関係機関との連携をコーディネートする役割を担うことが必要とされています。総合病院・小児専門病院に加え、保健所・保健センターや消防署（救急隊）、児童相談所など、様々な保健医療機関に実習をお願いしており、実際に施設を訪問・見学し、学校との連携についてお話をいただいております。専門職の方々と学生の学びをつなげるために、養護教諭としての経験を生かしながら尽力していきたいと思っています。



各委員会活動報告



養成制度検討・ カリキュラム検討委員会報告

委員長 今野洋子（北翔大学）

本委員会では、昨年度の11回におよぶ委員会開催を経て、現在、「養護教諭養成課程コアカリキュラム2025」の確立に向け、整備しているところです。今年度の委員会は6月29日・7月26日・8月13日・9月4日・9月5日・（以降未定）に予定されています。

現在検討中のコア・カリは、学生が卒業時に身につけておくべき実践的能力を9項目の学修目標として明示し、それらに対応させる形で再構成することを目指しました。その際に、「養護教諭養成課程コアカリキュラム（養大協版）2020」の内容を活かしました。また、養護教諭養成のための学修時間の6割程度を目安として学修内容を整理しています。なお、「養護教諭として求められる基本的な資質・能力」としてミニマムエッセンスである項目を記載することを心がけています。

2024-2026期カリキュラム検討委員

委員長 今野 洋子（北翔大学）
副委員長 亀崎 路子（杏林大学）
委員 岩崎 和子（北海道教育大学）
大沼 久美子（熊本大学）
前田 美穂（関西福祉科学大学）
間戸 美恵（桐生大学）
毛利 春美（畿央大学）

広報・渉外委員会報告

鈴木裕子（国士舘大学）
西岡かおり（四国大学）

本委員会は、ホームページの更新、ニュースレターの発行、活動報告の編集等を行っています。タイムリーな情報発信と会員の皆様の交流の場となるよう努めています。また、「健康教室」6月号と「健」7月号に本協議会の活動を紹介する記事を掲載し、情報発信を行いました。

ホームページ等でお気づきのことがありましたら、是非お声をお聞かせください。

2024-2026期 広報・渉外委員
西岡かおり（四国大学）
鈴木裕子（国士舘大学）

ファカルティ・ディベロップメント(FD) 検討委員会報告

委員長 鎌塚優子（静岡大学）

今年度は、昨年度実施された学生支援にかかわるワークショップの事前事後調査の分析を進めるとともに報告書としてまとめ年度内に報告する予定です。

<会議報告>

第1回委員会

日時：2025年4月3日（木）17:30-オンライン会議
出席者：荒川、沖津、酒井、柴田、武市、出口、波田野、森

議事内容：・今後の方向性についての検討
・ワークショップ事前事後調査の分析方法等の検討

2024-2026期FD検討委員

委員長 鎌塚 優子（静岡大学）
副委員長 荒川 雅子（東京学芸大学）
委員 沖津 奈緒（千葉大学）
酒井 都仁子（東京医療保健大学）
柴田 恵子（九州看護福祉大学）
武市 裕子（愛知教育大学）
出口 奈緒子（静岡大学）
波多野 希美（四天王寺大学）
森 慶恵（金沢大学）

養護教諭関係団体連絡会報告

現在、本会は日本養護教諭関係団体連絡会の幹事校となっており、本会会長がこの会の会長を兼務しています。毎年文部科学大臣に各団体の要望を集約した「要望書」を出しておりますが、今年度は7月30日に提出致しました。

要望は下記6つですが、要望の背景や要望理由など全文はHPに掲載しますので、詳しくはそちらをご覧ください。

【養護教諭の勤務環境及び資質向上方策に関する要望】

- 要望1 養護教諭の複数配置の定数改善
- 要望2 保健室のICT環境を早急に整備
- 要望3 養護教諭の資質能力の向上のための施策の要望
- 要望4 高等学校の養護教諭を「必置」とする法的整備
- 要望5 学校教育法附則第7条の「当分の間、養護教諭を置かないことができる」の撤廃
- 要望6 科学研究費助成事業の審査区分表に「教育学及びその関連分野」に「養護教育学関連」を位置付けて欲しい（遠藤伸子）

協議会活動報告

2025年度第1回役員会

日時：2025年4月4日(金)16:00～17:15

オンライン開催

＜出席者＞荒川,遠藤,亀崎,鎌塚,齋藤,鈴木,三森
(記録：亀崎)

＜協議事項＞20周年記念行事について,総会・講演について

2025年度第2回役員会

日時：2025年6月15日(日)16:00～18:05

オンライン開催

＜出席者＞荒川,遠藤,亀崎,鎌塚,齋藤,鈴木,三森,
西岡(記録：今野)

＜協議事項＞20周年記念行事について,総会・講演について,分科会について,年会費について

＜報告事項＞各委員会活動報告

2025年度第3回役員会

日時：2025年7月13日(日)17:00～19:20

オンライン開催

＜出席者＞荒川,池添,今野,遠藤,亀崎,鎌塚,齋藤,
鈴木,西岡(記録：齋藤)

＜協議事項＞20周年記念行事について,総会・講演について,分科会について

＜報告事項＞各委員会活動報告
(庶務 三森寧子)

会計より

会費の納入をありがとうございました。新型コロナウイルス感染症の拡大を契機に、役員会や各委員会の会議は主にオンラインで開催する形となりました。その結果、これらの会議にかかる経費は、従来に比べて削減されています。

経費削減分は、可能な限り会員の皆さまに還元できるよう努めており、セミナーや講演会のオンデマンド配信を継続的に行っております。

そのため、予算の各項目についても、従来と比べて金額の変動が見られるようになっております。

詳細につきましては、総会にてご報告させていただきます。引き続きご協力をよろしくお願いいたします。(会計担当：齋藤千景)

事務局からの連絡

1. 2025年度の総会の出欠について

代表評議員が欠席の場合は必ず委任状の提出をお願いします。なお、分科会の希望は先着順となります。また、情報交換会の出欠についても、8月8日(金曜日)PM5:00までにお返事を頂けます様お願い致します。

ご案内は、7月16日 日本養護教諭養成大学協議会事務局から評議員の皆様宛て入力フォームを配信しています。また、評議員以外で参加をご希望の方がいらっしゃいましたら、その方に参加フォームをお伝えください。

なお、その場合も参加フォームへの入力はお一人ずつでお願いいたします。

2. 事務局への連絡について

協議会へのご意見やお問い合わせは、原則、事務局宛てメールでお願い致します。

お電話ですと、女子栄養大学保健養護学研究室内の電話での対応になります。

【日本養護教諭養成大学協議会 事務局】

〒350-0288 埼玉県坂戸市千代田3-9-21

女子栄養大学 栄養学部 保健養護学研究室

TEL/FAX 049-282-3609

Mail: yogojimu@j-yogo.jp (事務局)



編集後記

本年度本協議会は、設立20周年の節目を迎えます。その節目に6年ぶりの対面開催が実現でき嬉しく思います。総会、講演会、分科会、記念行事、情報交換会と盛りだくさん予定されています。久しぶりに対面で交流を深め、学びの多い楽しい時間を共有したいと思います。

(西岡かおり・鈴木裕子)

日本養護教諭養成大学協議会

<http://www.j-yogo.jp/>

【事務局】女子栄養大学

TEL&FAX: 049-282-3609 (事務局)

Mail: yogojimu@j-yogo.jp

